

令和元年度(平成31年度)地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|------------------------------|
| 事業名 | 木育推進事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 木曾町 企画財政課 (0264-22-4287) |
| 事業区分 | (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 1,148,000円(うち支援金:861,000円) |

事業内容

木育の推進と「おもちゃ美術館」に携わる人材のスキルアップ向上を目的として、H30年に開催した「おもちゃインストラクター養成講座」を受講し「おもちゃインストラクター有資格者」となった53名と、10月12日に開催した木育キャラバンのスタッフ22名を対象に「おもちゃコンサルタント養成講座」の受講希望者を募集し、16名が受講した。

受講スタイルはリニューアルされたEラーニングコースとし、インターネット上の映像講座や手元に届くおもちゃやテキストをもとに自宅等で学習に取り組んだ。



【受講の様子】

【目標・ねらい】

- ①木育推進を図るための人材確保
- ②おもちゃ美術館の運営に携わる人材の育成

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①町民の中でおもちゃコンサルタント有資格者は1名だったが、H30年開催のおもちゃインストラクター養成講座から、おもちゃの魅力により自主的におもちゃコンサルタントを取得した方が3名。今回新たに16名の受講者を合わせて木育推進を図る人材の拡大が図られた。

②今回の受講生の中には、町民に限らず、飯田市、松本市、伊那市などの近隣自治体の住民5名も受講し、イベントへの協力等も通じて木曾町への関わりを強くする関係人口の増加に繋がった。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・おもちゃコンサルタントの増員。
- ・木曾町に繋がりを持つ関係人口の増加。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

更なる木育の推進や、おもちゃ美術館創設への機運を高め、来場者から愛され、満足のいくサービスを提供できるおもちゃ美術館を目指して、引き続き「おもちゃコンサルタント」有資格者の拡大を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある